

50
th

1972 ▶ 2022

創立50周年記念誌
現在／過去／未来



こころと身体のクリニック

医療法人社団

五稜会病院

Goryokai Hospital

目 次

はじめ	5
病院理念・基本方針	6
巻頭言	8
祝 辞	10
札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授 河西千秋	
医療法人社団大蔵会 札幌佐藤病院 理事長 佐藤亮藏	11
病院概要	14
診療実績	16
五稜会病院組織図	18
「くるみんマーク」の認定 さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業 家族会	19
現在 Present	20
過去 Past 50 年の歩み Goryokai's history	27
未来 Future 五稜会病院創立 50 周年記念編集委員会座談会 現在・過去から未来へ	41
部署紹介&ひとことメッセージ	55
医局	56
心理室	62
薬局	65
検査室	67
看護福祉部	69
外来看護	71
1 病棟（開放型療養）	74
2 病棟（急性期）	78
3 病棟（閉鎖型療養）	82
5 病棟（ストレスケア・思春期）	86
精神看護専門看護師（CNS）	90
作業療法室	92
栄養課	94
精神保健福祉課（医療相談室）	96
デイケアセンター	99
地域生活支援室	102
訪問看護	104
管理部・医事課・管理課・経理課	105
総務課	109
札幌 CBT&EAP センター	111
カフェ & shop 「moi moi」	113
歩 歩キッズ	114
先輩からの祝辞とエール	115
前看護部長 鈴木由美子	116
前薬局長 中島里美	117
前医事課長 伊藤和代	117
グループホーム紹介	118
業績集	121
日本精神科病院協会 業績	122
日本精神科病院協会会長表彰	123
札幌市医師会医学会賞	
第31回日本精神科病院協会精神医学会	124
第8回日本精神科病院協会日本精神科医学会学術大会	125
第22回日本ストレスケア病棟研究会 in 北海道	126
委員等役職一覧	127
論文・共著	128
学会発表	134
講師、講義	151
心理医局勉強会	158
取材、雑誌掲載	167
発表論文集①	171
発表論文集②	205
編集後記	232

— は ジ め に —

現 在／過 去／未 来



医療法人社団五稜会病院

理事長・院長 中島 公博

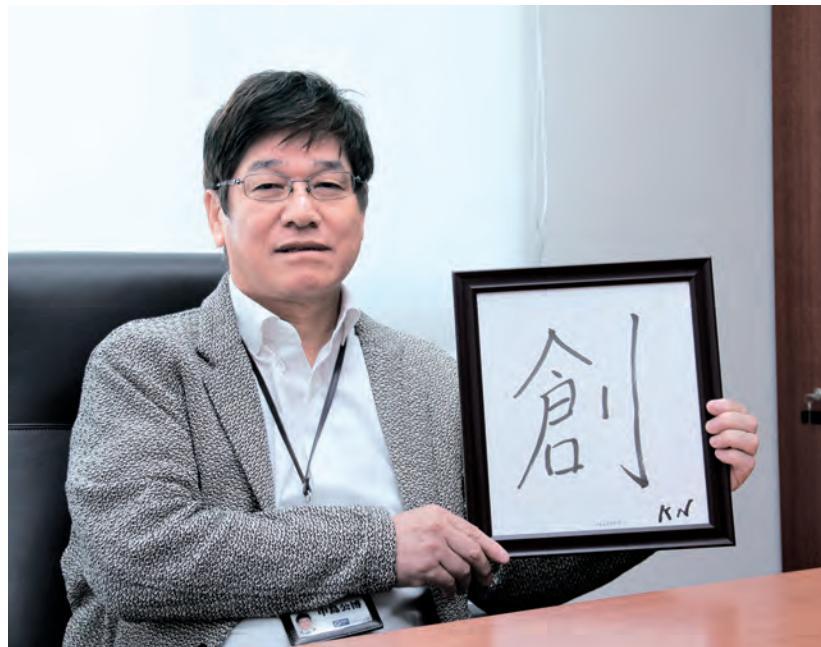
令和4年、五稜会病院は創立50周年を迎えました。五稜会病院は、故田中稜一が昭和47年に130床の単科精神科病院を開設したことが始まりです。当時の職員は46名、現在は、病床数193床、職員は約250名にまでなっています。札幌市北区篠路地区のみならず、札幌市内全域、石狩市、江別市、当別町の他、全道から患者さんが来院し、半世紀に渡り、脈々として精神科診療を行っております。

当院の特徴は、統合失調症や双極性感情障害の精神疾患の急性期治療はもちろんのこと、ストレスケア・思春期病棟を有しているように、ストレス関連疾患であるうつ病性障害や適応障害や思春期の精神障害や摂食障害を診療の対象にしていることです。また、長期入院者の退院支援を積極的に行ってています。多くの精神科病院とは異なり、

認知症は診療対象としておりません。外来や入院患者の年齢層は非常に若く、平均在院日数は約90日です。

開設以来、ハード面として、平成7年に大規模増改築（全身CT scanの導入）、平成14年に病棟増築、平成15年にストレスケア・思春期病棟の完成、平成26年に現在の新外来・病棟新築工事を竣工し現在に至っています。旧外来は待合室も狭かったですが、現在の外来ロビーはホテルのラウンジのような印象です。以前は、暑い夏には扇風機を回しながら汗だくで診療をしていましたが、今はエアコンが入り快適に過ごせています。

ハード面以上に重要なのが、病院組織の近代化を図ることでした。平成16年に病院機能評価受審を契機に病院理念、基本方針や各種規約など膨大



な書類を作成しました。職員一丸となって機能評価の受審にあたり、受審終了後には感極まって涙が出た担当者もいたくらいでした。その後、令和3年に4回目の更新を行っていますが、毎回、サベイナーからはお褒めの言葉を戴いております。

病院の理念は、タイトルとして「情熱と個々への配慮」です。初回の機能評価受審時に開設者故田中稜一が考えたものです。項目として、「個々を尊重する治療」、「医療の情報開示」、「地域医療連携」、そして、「臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める」ことを掲げています。記念誌には、五稜会病院で発表した論文や学会・研究会での発表内容も掲載致しました。

また、患者さんへの配慮として、「全道一の人にお優しい病院」を心がけています。話を聞いてくれ

る病院としての評価も高まっていると思います。

50周年記念誌作成にあたり、テーマを「現在・過去・未来」と致しました。やはり大事なのは、現在の五稜会病院です。診療報酬のしばりのなか、安定した経営環境のなかで患者中心の医療を展開していきたい思いです。未来に向けては、さらに、「想像」し「創造」していく、人に優しい五稜会病院であって欲しいと思います。

50周年記念誌作成にあたり、日頃から関連病院としてお世話になっている札幌医科大学神経精神科教授河西千秋先生、故田中稜一の大学同期である札幌佐藤病院理事長佐藤亮藏先生からご寄稿を戴きました。感謝申し上げます。

令和4年12月吉日

五稜会病院

現在
Present

過去
Past

未来
Future

病院の概要

<https://goryokai.com>

医療法人社団 五稜会病院

■所在地

〒002-8029

北海道札幌市北区篠路9条6丁目2-3

■電話・Fax

Tel : 011-771-5660 (代表)

Fax : 011-771-5687

■理事長 中島 公博

■院長 中島 公博

■副院長 富永 英俊

■顧問 千丈 雅徳

■看護福祉部長 吉野 賀寿美

■事務長 田中 倉一

■創立年月日 昭和47年12月

■従業員数 254名 (令和4年12月現在)

■診療科目 精神科・心療内科・内科・消化器内科

■病床数 総病床数193床

精神科急性期治療病棟 48床

ストレスケア・思春期病棟 48床

精神科療養病棟 48床・49床

■機関指定等

保険医療機関

労災保険医療指定機関

生活保護法指定医療機関

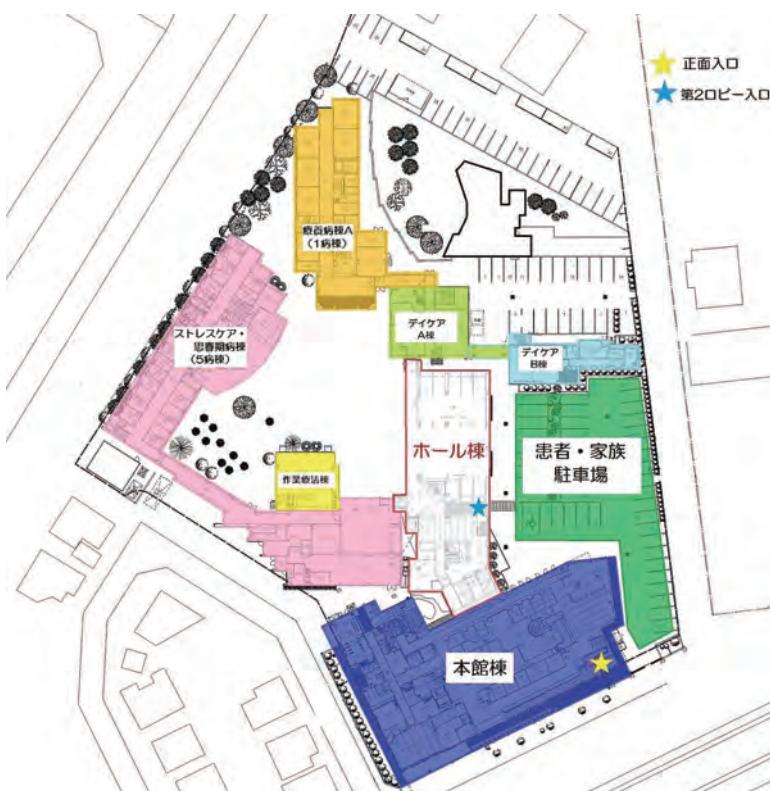
指定自立支援医療機関

日本医療機能評価機構認定病院

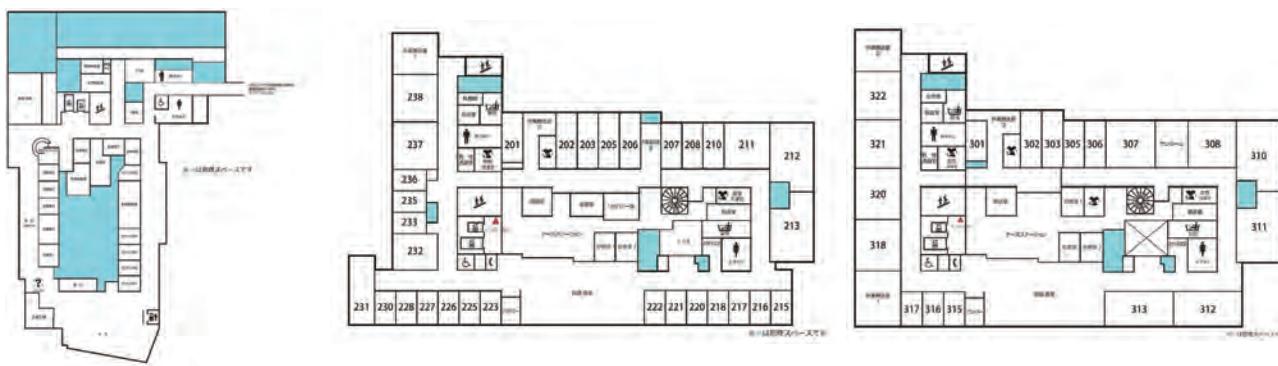
医師臨床研修指定病院



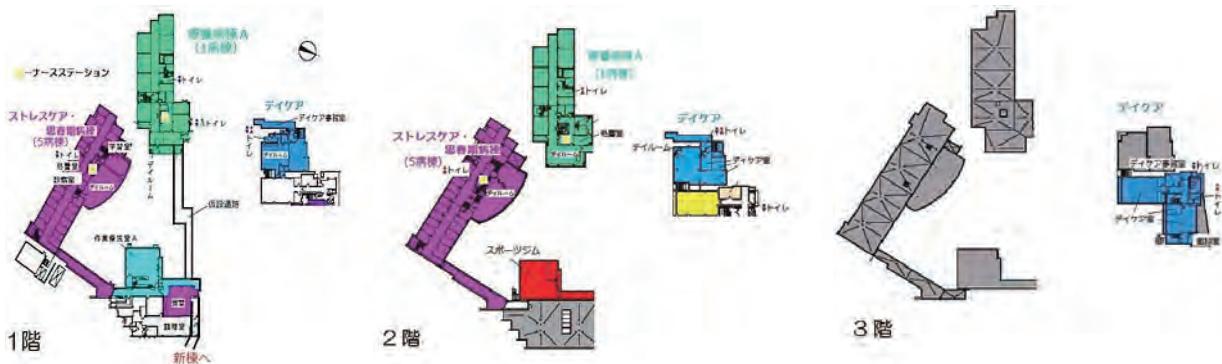
病院全体図 平成 27 年 12 月 1 日～



本館棟図



ストレスケア・思春期病棟、1病棟、デイケア



過去

Past

50年の歩み

*Goryokai's
history*

令和3年、令和4年五稜会病院 オンライン大忘年会開催

例年12月の第3金曜日は、五稜会病院の大忘年会を札幌市内の一流ホテルで開催していました。ところが、令和2年1月から始まった新型コロナウィルス感染の影響で、各部署での歓送迎会を含め、忘年会は中止に追いやりました。五稜会病院は、チーム医療を大事にしています。それを実践するには、職員同士のふれあいが大事です。令和2年と3年に新しく入職した方は40名にも上りますが、歓迎会などがないために、お互いに胸襟を開いて話すことが出来ず、新人や職場のスタッフ同士の関係が深化出来ていませんでした。そこで、令和3年度、4年度の忘年会は、対面での接触を避けるために、Zoomを使ったオンライン大忘年会を開催しました。

令和3年12月17日（金）

有名レストラン（ミシュラン★）のオードブルと飲料を各家庭に事前に配布し、雰囲気を作つての忘年会開催です。はじめに、理事長からの「1年を振り返って」のスライド発表と乾杯で開始。そして、事前に撮影した新人の紹介ビデオ、理事長賞の発表（ストレスケア・思春期病棟のレッドゾーン対応とコロナワクチン接種の2つ）、オンラインでの参加者同士の歓談。思いのほか大変楽しく出来ました。

史上初めてのオンライン大忘年会でした。でも、リアルの対面での会に勝るものはありません。最初で最後のオンライン大忘年会であつて欲しいと思った次第です。



令和4年12月16日（金）

令和4年度も、コロナ渦で対面での忘年会開催は断念しました。職員全員（200数十名）の自宅にレストランのオードブルと飲料を事前配布しました。昨年のオードブルは、ミシュラン★で、量的に少なかったとの意見があり、今回はボリューム感を重視しましたが、結構なお味でした。飲料は、イタリアの「ピノ・シャルドネ・スプマンテ」、ピノ・ビアンコ種とシャルドネ種を用いて造られた本格的な辛口のスパークリングワイン。泡立ちはきめ細かく、スッキリとした味わい、料理との相性も抜群でした。

忘年会のなかで、理事長賞が発表されました。1つは、3病棟（療養病棟）のクラスター感染対策、もう1つは、日頃病院の美化運動、清掃に従事している総務課に贈呈されました。2回目のオンライン大忘年会でした。二次会（オンラインで）もあり、楽しい一時でしたが、次年度は、札幌市内のホテルで対面での忘年会を期待しました。



未来
Future

五稜会病院50周年記念
編集委員会座談会

現在・過去から
50th 未来へ

現・過去・未来

出席者

中島 公博

[理事長・院長]

吉野 賀寿美

[看護福祉部長]

浮田 志保

[ストレスケア・思春期病棟師長]

古瀬 謙二

[薬局長]

田中 倉一

[事務長]

柴田 尚子

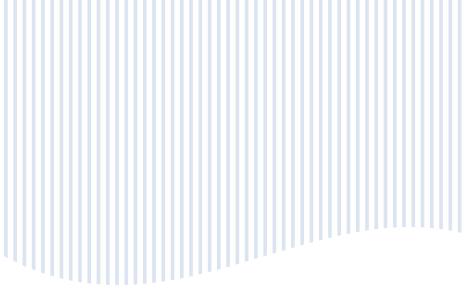
[医局秘書・診療情報管理士]

司会：中島 公博

とき：令和4年9月9日 ところ：JRタワーホテル

中島：本日は、五稜会病院50周年記念誌作成に当たって編集委員会の委員による座談会を企画しました。委員の皆さんには、五稜会病院に長くお勤めの方々ですので、50周年記念誌のテーマである「現在・過去・未来」について忌憚のない発言をお願いします。

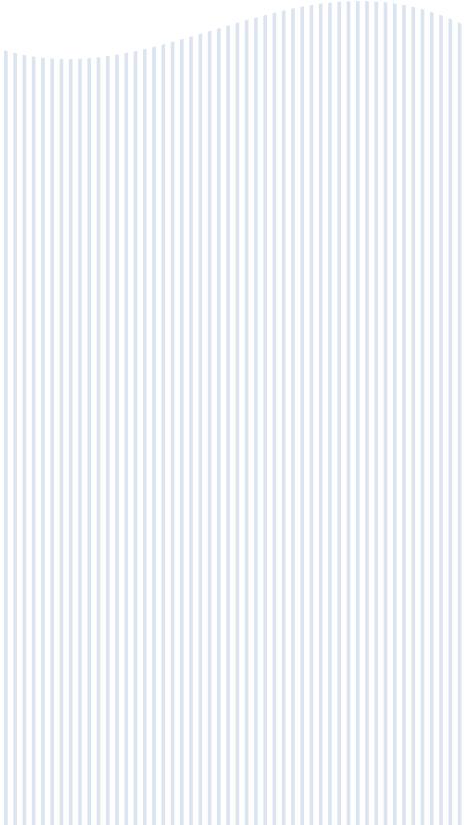
本日の進行は理事長・院長の中島が行い、現在の五稜会病院、過去を振り返って開設者の故田中稜一院長の思い出、ストレスケア・思春期病棟、病院機能評価受審そして最後に10年、30年、50年後の五稜会病院についてざっくばらんに話し合いたいと思います。コロナの感染拡大が続いているが、本日の座談会は感染防御に徹しながら、会食の形で進行したいと思います。



部 署 紹 介

&

メ ッ セ ー ジ



五稜会病院

業績集

- 日本精神科病院協会 業績
- 第31回日本精神科病院協会
精神医学会
- 第8回日本精神科病院協会
日本精神科医学会学術大会
- 第22回日本ストレスケア病棟
研究会in北海道
- 委員等 役職一覧
- 論文・共著
- 学会発表[口演、示説、ワークショップ、
シンポジスト、座長等]
- 講師・講義・相談等
- 心理・医局勉強会
- 取材・雑誌掲載記事



0139

田中稜一

五稜会病院

日精協会長表彰 受賞年月日 2001(H13)/09/28

	役 職	就任年月	退任年月	就任期間
地区代表	北海道 地区代表	1998(H10)/04	2006(H18)/05	9年
代議員	代議員	1986(S61)/04	2006(H18)/05	21年
支部長	北海道 支部長	1998(H10)/04	2006(H18)/05	9年
委員会・部会DPC検討部会	部会員	2004(H16)/10	2006(H18)/03	2年
委員会・部会医療経済委員会	委員	2000(H12)/04	2004(H16)/09	5年
委員会・部会医療経済委員会	委員	2006(H18)/04	2006(H18)/05	1年
委員会・部会医療政策委員会	委員	1993(H05)/04	2000(H12)/03	7年
委員会・部会医療保険等ワーキングチーム	委員	2004(H16)/06	2004(H16)/09	1年
委員会・部会医療法改正に関する専門対応チーム	委員	2005(H17)/09	2006(H18)/05	2年
委員会・部会基本計画推進協議会	委員	2003(H15)/04	2004(H16)/03	1年
委員会・部会診療報酬委員会	委員	2004(H16)/10	2006(H18)/03	2年
委員会・部会代議員会議事運営委員会	地区代表(北海道)	1996(H08)/04	2005(H17)/12	10年
委員会・部会代議員会議事運営委員会	北海道	2006(H18)/01	2006(H18)/05	1年
委員会・部会病床規模別検討部会	部会長	2006(H18)/04	2006(H18)/05	1年

0139

中島公博

五稜会病院

日精協会長表彰 受賞年月日 2022(R4)/06/10

	役 職	就任年月	退任年月	就任期間
役員	理事	2012(H24)/04		10年
委員会・部会ケースミックス検討部会	担当理事	2017(H29)/10	2019(R01)/07	2年
委員会・部会メンタルヘルス推進検討部会	担当理事	2012(H24)/05	2013(H25)/07	1年
委員会・部会医療観察法見直し専門対応チーム	委員長	2019(R01)/08	2021(R03)/06	2年
委員会・部会医療観察法見直し専門対応チーム	担当理事	2021(R03)/11		1年
委員会・部会医療観察法専門対応チーム	担当理事	2015(H27)/07	2019(R01)/07	4年
委員会・部会医療観察法担当者会議	担当理事	2012(H24)/04	2015(H27)/07	3年
委員会・部会医療計画に関する専門対応チーム	担当理事	2012(H24)/04	2013(H25)/07	1年
委員会・部会介護精神型老健施設具現推進部会	担当理事	2012(H24)/05	2013(H25)/07	1年
委員会・部会指定医研修委員会	機構委員	2010(H22)/04	2012(H24)/03	2年
委員会・部会障害福祉サービス専門対応チーム	担当理事・委員長	2021(R03)/07		1年
委員会・部会障害報酬部会	担当理事	2019(R01)/07	2021(R03)/06	2年
委員会・部会新たな精神科治療システム検討部会	担当理事	2012(H24)/05	2015(H27)/07	3年
委員会・部会身体拘束適正化専門対応チーム	担当理事	2021(R03)/12		1年
委員会・部会政策委員会	担当理事	2012(H24)/04		10年
委員会・部会精神医療福祉関連法検討部会	担当理事	2012(H24)/05	2013(H25)/07	1年
委員会・部会精神科医療国際比較部会	担当理事	2021(R03)/09		1年
委員会・部会精神科治療標準化検討部会	担当理事	2012(H24)/05	2013(H25)/07	1年
委員会・部会精神障害者諸類型施設具現推進部会	担当理事	2013(H25)/08	2015(H27)/07	2年
委員会・部会調査分析政策立案部会	担当理事	2015(H27)/10	2019(R01)/07	4年
委員会・部会調査分析部会	担当理事	2019(R01)/07	2021(R03)/06	2年
委員会・部会入院医療適正化検討部会	担当理事	2012(H24)/05	2017(H29)/06	5年
委員会・部会入院外治療システム検討部会	担当理事	2015(H27)/10	2017(H29)/06	2年
委員会・部会判定医等研修分科会	担当理事	2019(R01)/07		3年
委員会・部会保険診療・指導監査に対する専門対応チーム	担当理事	2012(H24)/04	2015(H27)/07	3年
委員会・部会法改正実務マニュアル作成専門対応チーム	担当理事	2014(H26)/01	2015(H27)/07	2年

論 文

No	タイトル	著者/共著者 掲載誌等 年;月:頁
1994年（平成6年）～1999年（平成11年）		
1	居間的な共有空間を備えた12人病室の治療的意義 -ハーフウェアとソフトウェアの視点から-	中村泰江/中村 潔、高沢加代子、竹形尚子、林 裕、田中稜一 精神科治療学 1994;9:857-863
2	北海道およびその市町村の精神保健対策の単独事業の概要 -精神保健対策と精神分裂病の重症度スケールの意義-	田中稜一/日精協誌 1994;13:6-9
3	一酸化炭素の慢性曝露の関与が考えられた初老期発症痴呆の1例	中島公博/渡部正行、中野倫仁、石垣博美、池本真美、川崎峰雄、高畠直彦 精神医学 1994;36:963-968
4	認知・認知行動療法研究会の活動	田中稜一/田村嘉子、奥瀬 哲、千丈雅徳、木津明彦、福井 至、岩本隆茂、斎藤 嶽 札医通信 1995;3:298-301
5	陰性症状評価尺度（SANS）を用いた慢性期精神分裂病の重症度判定とその意義	中島公博/田中稜一、中村 潔、林 裕、高沢加代子、高畠直彦 臨床精神医学 1995;24:213-219
6	今回の医療費改定で新設された精神科急性期治療病棟 -良質な精神医療には多くの病院が採択し得るように-その改善試案	田中稜一/中島公博、中村 潔、林 裕、小片 基 日精協誌 1996;15:70-74
7	本邦における認知療法、認知行動療法、生活技能訓練および社会技能訓練の動向	高沢加代子/田村嘉子、木津明彦、福井至、岩本隆茂、千丈雅徳、斎藤康子、斎藤巖 行動療法研究 1996;22:21-42
8	長期入院慢性精神分裂病患者に対する生活技能訓練（SST）の実践と社会復帰 -SST実践の場としての病室構造の意義-	中島公博/田中稜一、高沢加代子、林 裕、中村 潔、中村 泰江 臨床精神医学 1996;25:459-464
9	閉塞型睡眠時無呼吸症候群における身体的ならびに臨床検査所見の検討	中島公博/新ヶ江正、毛利義臣 臨床精神医学 1996;25:981-987
10	長期入院患者を対象としたSSTの実際とその工夫	大島ひとみ/桑島 彩 精神科看護 1996;60:35-41
11	精神病院における長期入院者の退院・地域医療への促進 -その「住まい方」とノーマライゼーション-	田中稜一/中島公博、中村 潔、林 裕、小片 基、三浦一恵、谷藤智美、桑島 彩、林 久美、笹本裕子 北海道ノーマライゼーション研究 1997;9:17-31
12	精神科病院建築と療養環境	田中稜一/日精協誌 1997;16:458-461
13	病棟機能分化と病院（公私を含む）の機能分担・連携	田中稜一/日精協誌 1997;16:346-348
14	ノーマライゼーションの観点からみた慢性分裂病者の地域での住まい方	中島公博/田中稜一、中村 潔、林 裕、小片 基 臨床精神医学 1997;26:1337-1344
15	居間的空間を持った12人病室の試み	田中稜一/病院賃金労務事情 1997;145:12-16
16	アメリカにおける化学物質依存（Chemical dependence）医療の現状	小片 基/北の産業保健 1997;2:16-17
17	企業と精神科医の接点を読んで	小片 基/北の産業保健 1997;3:8-11
18	精神病院とアメニティ ①医療者の立場から	田中稜一/こころの科学 1998;5:71-75
19	地域生活支援と訪問看護－共同住居の居住する慢性分裂病者に対する訪問看護の実践と今後の課題－	中島公博/田中稜一 日精協誌 1998;17:62-66
20	「これから的精神科病院のあり方」と分裂病-日精協に聞く-	田中稜一/日精協誌 1998;17:5-7
21	精神科病院における長期入院者の退院と地域医療への促進（II）-当院における共同住居の実践とその課題	三浦一恵/中島公博、中村潔、林裕、谷藤智美、小畑友希、林久美、笹本裕子、梅原章子、田中稜一 病院・地域精神医学 1998;41:41-43
22	精神科病院における長期入院者の退院と地域医療への促進（I）-アンケート調査による「住まい方」からみたノーマライゼーション-	中島公博/中村潔、林裕、三浦一恵、谷藤智美、桑島 彩、林久美、笹本裕子、田中稜一 病院・地域精神医学 1998;41:39-40
2000年（平成12年）～2004年（平成16年）		
23	心療内科から精神科病院への紹介患者の分析-心療内科と精神科の連携-	中島公博/田中稜一、林 裕、奥瀬 哲、八代信義 心身医学 2000;40:632-636
24	医療費の高騰一枯渇の時代を迎えて 良質な精神医療の実現のために	田中稜一/日精協誌 2001;2:47-52
25	21世紀の精神科病院におけるアメニティ空間の位置づけ	田中稜一/日精協誌 2001;7:22-25
26	疼痛の除去後、幻覚妄想が劇的に改善した2症例	中島公博/田中稜一、落合卓洋、白瀧光男、林 裕、坂岡ウメ子 札幌市医師会医学会誌 2001;26:51-52
27	精神科病院退院患者の入院治療と満足度調査	中島公博/田中稜一、林 裕、坂岡ウメ子 札幌市医師会医学会誌 2002;27:237-238
28	交代人格が成長して寛解へと至った解離性同一性障害の1例 各人格のエゴグラムと風景構成法の比較を通して	千丈雅徳/佐藤友香、中島公博、坂岡ウメ子、林 裕、田中稜一 精神医学 2002;44:1061-1068
29	母親の空の巣症候群	千丈雅徳/教育と医学 2002;50:542-546
30	地域精神科領域におけるスペシャリスト看護師のリスクアセスメントの実際	吉野賀寿美/日本精神保健看護学会誌 2002;11(1):31-42
31	精神科病院と建築のあり方-療養環境とアメニティに関しての研究	田中稜一/五十嵐良雄、長瀬輝誼、平川淳一、宮城千城、山崎 学 平成14年度厚生科学研究 2002;000:1-8
32	思春期・青年期治療のための精神科病棟	田中稜一/こころの臨床アラカルト 2003;22:43-48

開催月日	演題名	学会名	会場	演者	分類
11.22	メリデン版訪問看護支援ファミリーウォーカー間のピア・ステーピング実践報告	第27回日本精神障害者リハビリテーション学会	大阪	今井佐千子	口演
11.22	メリデン版訪問看護支援ファミリーウォーカーの実践を支えるサポート体制の評価 ～Aグループスーパーバイズ記録を評価して～	第27回日本精神障害者リハビリテーション学会	大阪	吉野賀寿美	口演
12.4	統合失調症治療におけるデシジョンメイキングから見たシクレストの位置付け	第5回札幌メンタルヘルス講演	札幌	山口 択	口演
12.4	一般演題 山口 択・白石将毅先生	第5回札幌メンタルヘルス講演	札幌	中島公博	座長

【2020年（令和2年）】

1.25	「精神科病院における大うつ病性障害に対する認知リハビリテーション」（森元隆文） 「新しいうつ病診断分類ICD-11・DSM-5に対する新しい薬物療法」（山田和夫）	札幌うつ病フォーラム2020	札幌	中島公博	座長
2.1	地震災害時における精神科訪問看護師の役割とは	第40回札幌市病院学会	札幌	庄司典子	口演
2.1	本人を中心とした多職種協働がエンパワメントにもたらす影響について	第40回札幌市病院学会	札幌	佐藤ゆかり	口演
2.1	精神科看護師が仕事へ向かう気持ちの切り替えについての一考察～アロマオイルを用いて～	第40回札幌市病院学会	札幌	大野麻理	口演
2.16	民間の単科精神科病院における精神鑑定126件の検討	第45回札幌市医師会医学会	札幌	中島公博	示説
2.23	頭痛保有者の痛みへの対処と不眠症状との関連について	第45回日本心身医学会 北海道支部例会	札幌	宮村真季	口演
9.4	うつ病のリカバリーを考える（まつもとメンタルクリニック：松本出院長）	Mind & Body講演会on Web	札幌	中島公博	座長
10.29	急性期統合失調症の新たな治療選択肢（桶狭間病院藤田こころケアセンター藤田潔）	ロナセンテープ発売1周年記念講演会in札幌LIVE配信講演会	札幌	中島公博	座長
11.20	精神科地域病診連携（長谷川直実）オレキシン受容体拮抗剤への期待（服部晃広）	不眠症診療Web講演会	札幌	中島公博	座長

【2021年（令和3年）】

2.4	発達障害の初診から診断確定までの効率的システムの検討～心理師による発達特性を中心とした予診の活用～	第41回札幌市病院学会	札幌	宮村真季	口演
2.4	精神科急性期病棟におけるプライマリーナースの役割と課題 - 病棟スタッフの意識調査から -	第41回札幌市病院学会	札幌	伊藤紗織	口演
2.4	主体的な作業療法プログラムにより自己表出が増加した慢性期統合失調症の事例	第41回札幌市病院学会	札幌	竹原幸佑	口演
2.14	民間の単科精神科病院における臨床経験の検討	第46回札幌市医師会医学会	札幌	中島公博	示説
2.26	チーム医療と統合失調症治療（teamLAI）：弓削病院鍋島賢大・青木大和	Janssen LAI Webセミナー	札幌	中島公博	座長
2.28	認知行動療法により過食・排除行動が改善した神経性過食症の面接過程	第46回日本心身医学会 北海道支部例会	札幌	藤井美緒	口演
3.5	パネルディスカッション「パリペリドン3製剤を使いこなす工夫」（宮田久嗣・長谷川直実・吉田拓）	ゼブリオンTRI発売記念講演会in 北海道～ノーマライゼーションを目指して～	札幌	中島公博	座長
3.17	LT（ロナセンテープ）と合理的治療法（山梨県立北病院：田中康平）	精神科救急医療Web講演会	札幌	中島公博	座長
4.15	うつ病と社会復帰のためのリワークに関してさっぽろ駅前クリニック：横山太範先生）	武田薬品（株）	札幌	中島公博	座長
4.22	統合失調症の理解と最近の精神科医療の話題	MeijiSeikaファルマ社内勉強会	札幌	中島公博	口演
6.5	精神科病院において患者から暴力を受けた際に報告が出来なかった看護師の思い	第31回日本精神保健看護学会	山形	中島 甫	口演
6.5	メリデン版訪問家族支援の普及の後見、新たな精神医療と看護の治験を得る	第31回日本精神保健看護学会	山形	吉野賀寿美	シガスト
7.16	リワークで見られる人格の発達：徳永雄一郎	第13回北海道リワーク勉強会	札幌	中島公博	座長
9.9	メリデン版訪問家族支援実践報告	第56回日本精神保健福祉士協会全国大会	札幌	今井佐千子	口演
9.9	隔離を繰り返し退院支援が困難だった双極性感情障害患者への支援 -隔離中からリカバリー視点での介入を試みたケース-	第10回日本精神科医学会	横浜	中村英介	口演
9.9	精神科療養病棟の看護師が患者へ抱く陰性感情の詳細についての分析	第10回日本精神科医学会	横浜	田中 愛	口演
9.9	デイケア利用者が初めて役割行動を起こすに至った要因～利用者の視点から～	第10回日本精神科医学会	横浜	高橋真梨	口演
9.9	コロナパンデミックにおける精神疾患への影響と自殺增加の要因：徳永雄一郎	第10回日本精神科医学会	横浜	坂野雄二	座長

開催月日	演題名	学会名	会場	演者	分類
9.9	単科精神科病院での発達障害診療における精神科医と心理師との協同～初診から診断確定までの効率的システムの開発～	第10回日本精神科医学会	横浜	中島公博	シンポジスト
9.16	うつ病治療における真のリカバリーとは：徳永雄一郎先生	Meet the Psychiatrist Expert	札幌	中島公博	座長
9.19	単科精神科病院における実際的なアドボケイト導入について～五稜会病院における入院患者の意思決定支援の取組み～	第117回日本精神神経学会	京都	中島公博	シンポジスト
9.23	不眠を併存する精神科入院患者に対するCBT-Iの不眠改善と退院後の改善維持の効果検討	第46回日本睡眠学会定期学術集会	福岡	井端累衣	示説
10.20	復職を考えた新しいうつ病の治療展開～リワークの実情を含めて～：信田広晶（しのだの森ホスピタル）	Meet the TrinteHix Expert	札幌	中島公博	座長
10.24	双極性障害における侵入思考：橋本佐（国際医療大学）	不安・抑うつ臨床研究会学術集会	東京	坂野雄二	座長
11.10	統合失調症治療におけるロナセンテープの位置づけ～急性期治療での可能性とチーム医療の実践～：福島瑞（あさひの丘病院）	チームで支える精神科医療、オンラインセミナー in 札幌	札幌	中島公博	座長
11.10	看護師目線によるロナセンテープの有効な使い方と注意点：正田健（東ヶ丘病院）	チームで支える精神科医療、オンラインセミナー in 札幌	札幌	吉野賀寿美	座長
11.20	学習者も指導者もそして市民も共に育ち合うシミュレーション教育	北海道看護研究学会	札幌	本多健太郎	口演
12.11	メリデン版訪問家族支援実践報告～家族間でのコミュニケーションが増え行動化が減少したケース～	第28回日本精神障害者リハビリテーション学会愛知大会	名古屋	鈴木大輔	口演
12.11	当事者本人と家族のリカバリーを支える行動療法的家族療法の原則的重要性～メリデン版訪問家族支援の実践を振り返って～	第28回日本精神障害者リハビリテーション学会愛知大会	名古屋	吉野賀寿美	口演

【2022年（令和4年）】

2.13	単科精神科病院におけるコロナ禍の思春期症例の動向～五稜会病院での17歳のカルテ～	第47回札幌市医師会医学会	札幌	中島公博	示説
2.16	釧路でのADHD治療（早稻田紘士）・ADHDとアディクション（館農勝）	成人期ADHDエキスパートカンファレンス	札幌	中島公博	座長
2.20	多職種連携でLAI導入にチャレンジ（茨城県立こころの医療センター：水谷洋介、辛島昌秀）	ヤンセン（株）多職種でのLAI同入院術と使用意義	札幌	中島公博	座長
2.27	家族療法によって回復した10代の神経性やせ症の一例	第47回日本心身医学会 北海道支部例会	札幌	八幡朋奈	口演
3.1	コロナ禍におけるアルコール依存症外来集団療法への取り組み	第42回札幌市病院学会	札幌	旭 俊恵	口演
3.1	成人ADHDを対象とした認知行動療法プログラムの予備的検討	第42回札幌市病院学会	札幌	宮村真季	口演
3.1	精神科における本人参加型多職種カンファレンスの実践報告－妄想が顕著な統合失調症患者の事例－	第42回札幌市病院学会	札幌	難波直喜	口演
3.1	看護部門（4）	第42回札幌市病院学会	札幌	藪内裕介	座長
5.17	ロナセンテープの使用経験（田上洋平）・メリデン版訪問家族支援（吉野賀寿美）	精神科訪問支援を考える in 札幌	札幌	中島公博	座長
5.17	社会復帰に向けたロナセンテープの使用経験	精神科訪問支援を考える in 札幌	札幌	田上洋平	口演
6.2	これから的精神科医療を考える会～地域移行を見据えた多職種連携とは～	これからの精神科医療を考える会	札幌	中島公博	座長
6.2	これからの多職種連携とは	これからの精神科医療を考える会	札幌	藪内裕介	シンポジスト
6.2	これからの多職種連携とは	これからの精神科医療を考える会	札幌	古瀬諒二	シンポジスト
6.16	コロナ禍における五稜会病院ストレスケア・思春期病棟への影響	第118回日本精神神経学会	福岡	中島公博	シンポジスト
6.23	うつ病および抗うつ薬の使用に関する情報提供	Online Symposium for PSYCHIATRY	札幌	坂野雄二	座長
6.26	労働者の不眠症状におけるネットワーク構造 Network structure of insomnia symptoms in Japanese daytime workers	第63回日本心身医学会総会	千葉	井端累衣	示説
7.16	単科精神科病院における精神看護専門看護師に対する管理職の役割期待に関する調査	第21回北海道病院学会	札幌	鈴木大輔	口演
7.16	児童思春期の神経性やせ症に対する家族療法によって回復した症例	第21回北海道病院学会	札幌	藤井美緒	口演
7.16	足腰強化プログラム導入に伴う運動機能の変化	第21回北海道病院学会	札幌	高橋佳那	口演
8.4	うつ病軽症化時代の治療終結について考える：徳永雄一郎	うつ病領域講演会	札幌	中島公博	座長
9.4	これってリカバリー！？精神科デイケアにおける「ポジティブサークル」の活動	第27回 日本デイケア学会	静岡	びあサークルメンバー（菅原由美子、石川正利、熊谷久子、春山弘美、美馬信人）	口演

開催月日	演題名	学会名	会場	演者	分類
9.8	Designed SDAラツーダがもたらす新たな治療戦略:石塚卓也	ルラシドンを再考するin札幌	札幌	中島公博	座長
9.18	うつ病における認知機能障害（北川信樹：北大通こころのクリニック）	日本精神神経科診療所協会 第28回学術研究会	札幌	坂野雄二	座長
9.30	状況のストレス度と対処方略の交互作用の検討	第48回日本認知・行動療法学会	宮崎	中村亨	口演
9.30	子どもの精神科救急入院治療についての検討	第30回日本精神科救急学会	埼玉	下出崇輝	示説
10.2	一般演題「働き方改革 2」	第63回全日本病院学会 in 静岡	浜松	田中倉一	座長
10.14	リモートワークと復職	北海道リワーク勉強会	札幌	高谷広美	口演
10.14	ゼプリオンTRIの患者/医師の臨床的意義について	ゼプリオンTRI 2周年記念講演会	札幌	中島公博	座長
10.16	精神医学者からの考察	不安・抑うつ臨床研究会学術集会	東京	坂野雄二	座長
10.21	成人期ADHDの治療（横山太範）	成人期ADHD WEBセミナー	札幌	中島公博	座長
10.27	行動制限最小化に関する最近の動向	第11回日本精神科医学会	静岡	中島公博	シボシト
10.27	精神保健福祉法改正の行方～これからの精神科医療とは～	第11回日本精神科医学会	静岡	中島公博	シボシト
10.27	リカバリー志向のクリニカルパスを通した退院支援の取り組み～チームカンファレンスの向上に焦点を当てて～	第11回日本精神科医学会	静岡	小川園美	示説
10.27	ストレスケア病棟での作業療法は患者の気分にどのような影響を及ぼすか	第11回日本精神科医学会	静岡	矢崎秀幸	示説
10.27	単科精神科病院における再来受付機の導入と課題	第11回日本精神科医学会	静岡	阿閉拳剛	示説
11.16	統合失調症治療を再考する in 北海道（岸田学：京阪病院副院長）	ラツーダ関連研究会	札幌	中島公博	座長
11.17	片頭痛患者さんが抱えるこころの問題（井上悟：鈴木神経科病院）	片頭痛とこころの診療を考える会 on WEB	札幌	中島公博	座長
11.22	ランチョセミナー5 「Withコロナ時代における子どものメンタルヘルス」	第26回日本心療内科学会総会・学術大会	福岡	坂野雄二	座長
12.13	ロナセンテープに使用経験（長谷川直美：大通り公園メンタルクリニック） メリデン版訪問家族支援関連の話題（吉野賀寿美：五稜会病院看護部長）	精神科訪問支援を考えるin 札幌	札幌	中島公博	座長

【心理・医局勉強会】

※心理・医局勉強会の資料は、院内ホームページでアップロードされていますので、誰でも閲覧が可能です。

No	開催日	テーマ	担当者	所属
平成11年～平成13年				
第1回	平成11年5月13日	抑うつから生じた摂食障害の一症例における検討	佐藤(有)	心理
第2回	平成12年5月10日	心理教育的アプローチを取り入れた集団精神療法	竹形	心理
第3回	平成12年5月24日	人格に関わる諸問題（症例を用いて）	白瀬	医師
第4回	平成12年6月14日	うつ病の認知療法－集団認知療法を併用した一症例－	佐藤(有)	心理
第5回	平成12年6月28日	精神科とジェンダーフリー	桑島	心理
第6回	平成12年7月12日	精神科治療におけるクリティカル・パス	中島	医師
第7回	平成12年7月26日	早期症状マネージメント	竹形	心理
第8回	平成12年8月9日	人格障害の次元モデル	落合	医師
第9回	平成12年8月23日	境界性人格障害の認知療法	佐藤(有)	心理
第10回	平成12年9月13日	摂食障害の行動療法における予後予測	桑島	心理
第11回	平成12年9月27日	エビデンス医療・エビデンス精神医療	中島	医師
第12回	平成12年10月11日	Solution-Focused Approach	竹形	心理
第13回	平成12年11月8日	BPDの精神療法	落合	医師
第14回	平成12年11月22日	心理療法過程で見られる「退行」について	佐藤(有)	心理
第15回	平成12年12月13日	障害の構造	白瀬	医師
第16回	平成12年12月27日	DSMにおける（障害）の発達 など	桑島	心理
第17回	平成13年1月10日	支持的精神療法の上手な使い方	中島	医師
第18回	平成13年2月14日	不安障害の女性への解決指向的アプローチ	竹形	心理
第19回	平成13年3月14日	集団認知療法	佐藤(有)	心理
第20回	平成13年3月28日	分裂病と記憶システム	白瀬	医師
第21回	平成13年4月11日	ストレッサーの認知的評価がタイプA行動パターンに及ぼす影響	中村	心理
第22回	平成13年4月25日	強迫神経症の男子と面接過程	長尾	心理
第23回	平成13年5月9日	精神科デイケアにおける就労支援活動について	進	心理
第24回	平成13年5月23日	適応障害の解決	中島	医師
第25回	平成13年6月13日	ある日の早期症状トレーニングでの一場面	竹形	心理
第26回	平成13年6月27日	精神分析と精神分析的精神療法	落合	医師
第27回	平成13年7月11日	認知行動療法の歴史と発展	佐藤(有)	心理
第28回	平成13年7月24日	分裂病の臨床的特徴と認知障害	白瀬	医師
第29回	平成13年8月8日	パーソナリティの5因子モデル	中村	心理
第30回	平成13年8月22日	ブリーフセラピー	長尾	心理
第31回	平成13年9月12日	臨床動作法	手代木	心理
第32回	平成13年9月26日	思春期外来・思春期相談	中島	医師
第33回	平成13年10月10日	TFTとは？	竹形	心理
第34回	平成13年10月24日	PTSDについて（学会報告）	佐藤(有)	心理
第35回	平成13年11月14日	対人恐怖の認知モデル など	佐藤(有)	心理
第36回	平成13年12月12日	感情表出（EE）について	長尾	心理
平成13年～平成15年				
第37回	平成14年1月9日	デイケアにおける就労準備プログラムの報告	竹形	心理
第38回	平成14年1月23日	うつ病の精神療法	落合	医師
第39回	平成14年2月20日	精神科病院と建築のあり方－環境療養とアメニティーに関する研究	佐藤(有)	心理
第40回	平成14年2月27日	自己制御と精神病理	中村	心理
第41回	平成14年3月13日	アサーショントレーニング	長尾	心理
第42回	平成14年4月10日	平成13年度「こころの健康づくり対策」思春期精神保健対策専門研修会「医師コース」（平成14年3月25日～27日）参加報告	中島	医師
第43回	平成14年4月24日	ロールシャッハ・フィードバック・セッション	竹形	心理
第44回	平成14年5月8日	摂食障害（Eating Disorder;ED）	小林	医師
第45回	平成14年5月22日	思春期症例に対する対応と治療	佐藤(有)	心理
第46回	平成14年6月26日	身体活動、心理的健康、QOL	中村	心理
第47回	平成14年7月10日	「心の地図」～こころの障害を理解する～	長尾	心理
第48回	平成14年7月24日	児童虐待防止ネットワーク	中島	医師
第49回	平成14年8月14日	症例：Aさん、17歳女性、高校3年	佐藤(有)	心理
第50回	平成14年8月28日	ジュディス・ハーン「心的外傷と回復」	千丈	医師
第51回	平成14年9月11日	家族のストレス・マネジメント 行動療法的家族療法の実際	佐藤(有)	心理
第52回	平成14年9月25日	アルコール依存症	小林	医師
第53回	平成14年10月16日	看護職のストレス	中村	心理
第54回	平成14年10月23日	職場におけるメンタルヘルスの基本的枠組み など	中野	医師
第55回	平成14年11月13日	リストカット（手首自傷症候群）	長尾	心理
第56回	平成14年11月27日	思考障害評価法と基礎	古根	医師

発表論文集①

〈一部抜粋〉



発表論文集 ②

〈一部抜粋〉

編集後記

五稜会病院創立50周年を記念した冊子が出来上りました。

タイトルは、「現在/過去/未来」としました。

現在の時代に生きる我々五稜会病院職員にとって、やはり大事なのは「現在」です。

現在の五稜会病院の姿を整理することは、足下をしっかりと見据え、五稜会病院の人に優しい、安心・安定した病院創りに欠かせない作業になります。

そして、現在の五稜会病院があるのは、「過去」があるからであり、創立当時やその後の歴史を振り返ることは、その知恵を現在に生かすことも出来ると思います。

50周年記念誌の構成は、現在の五稜会病院、各部門紹介、職員からの応援メッセージ、過去の創立以来の出来事、運動会や盆踊りなどの懐かしい写真、論文や学会・研究会発表の業績、主要な論文別刷、さらには、「現在 / 過去 / 未来」を掘り下げるために、編集委員による座談会の内容を掲載致しました。

改めて、これまで五稜会病院に関わった全ての皆様に感謝の意を表するとともに、今後の50年後に向けて、さらなるご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。

令和5年2月

中島公博

五稜会病院創立50周年記念誌編集委員

○中島公博（理事長・院長）

吉野賀寿美（看護福祉部長）

浮田志保（ストレスケア・思春期病棟師長）

古瀬諒二（薬局長）

柴田尚子（医局秘書・司書）

田中倉一（事務長）